

# うちとこのぎがい

9 月 議 会 報  
NO. 186  
2022. 11. 1

めいわ議会だより



ろうそくと竹の灯りイベント  
(公益財団法人 国史跡斎宮跡保存協会主催)



## CONTENTS

- P. 2 委員会レポート
- P. 5 一般質問
- P. 10 その後どうなった
- P. 12 キラッと輝く人たち

## 総務産業常任委員会

8/29

### 主な内容 ● 雨水災害危機予測計画について

- 建設課より、雨水災害危機予測計画において、新たに町内3河川にそれぞれ1基、計3基の水位カメラの新設と、大淀漁港に潮位計とカメラ各1基が新設される旨の報告がありました。委員より、明星地内を中心とした家屋浸水・道路冠水などにも対応したカメラの設置も取り組んでいくよう要望致しました。
- 上下水道課より、7月26日(火)深夜に発生した落雷による南部水源地機器故障及び給水制限について報告がありました。原因は水源地付近の電柱への落雷と思われる、緊急通報回線等が故障しました。通信事業者と町執行部間での今後の対策協議、

また庁舎全体で情報共有し、対応するよう要望致しました。

請願第1号「国に消費税インボイス制度の中止を求める請願」について、令和4年6月17日(金)の本会議において継続審査と致しました。8月3日(水)にインボイス制度について勉強会を実施し、8月29日(月)に改めて委員会を開催し、請願者と紹介議員への質疑の後、審議を行いました。審議の結果、反対討論1名、採決は賛成者無しで不採択となり、9月15日(木)の本会議に報告致しました。

## 教育厚生常任委員会

9/1

### 主な内容 ● 空き家対策の進捗状況について

- 生活環境課より、空き家対策の進捗状況についての説明がありました。
- 斎宮跡・文化観光課より、旧JA多気郡斎宮支店跡地の発掘調査等の説明がありました。
- 健康あゆみ課より、新型コロナウイルスワクチン接種について、またインフルエンザワクチン

接種費用臨時助成事業についての説明がありました。

- 教育課より、近鉄山田線斎宮小学校境界防護柵等崩壊復旧工事等についての説明がありました。
- こども課より、令和5年度放課後児童クラブ運営業務委託についての説明がありました。

## 小学校適正配置等調査特別委員会

8/3

### 主な内容 ● 小学校区編制等事業の進捗状況について

- 令和4年8月3日に第一期再編小学校等事業者選定募集要項、要求水準書、概算事業費について、修正小学校及び旧暁幼稚園活用事業の利用について、執行部から説明がありました。委員からは、「ワークショップの方針は事業者選定前にするべきでは」「財政シミュレーションについて全体的に歳出等の問題はないのか」「財政的に役場庁舎建設の考え方について」「役場庁舎

の老朽化の対策について」「学校ZEB化の内容と補助金について」「建設工事の町内企業の対応について」等の意見が出されました。

今後も、明和町小学校区編制にかかる事業は大変重要な問題でありますので、諸問題を皆様に理解いただけるよう、議会からも充実を図っていきます。

令和4年第3回定例会が、9月5日から15日までの会期で開かれ、提案された議案は原案のとおり可決しました。それぞれの結果は下記の通りです。  
また決算特別委員会が9月12日から13日にわたり開かれました。

## 議決結果一覧表

議案番号	件名	結果
発議第 3号	子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書	
発議第 4号	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書	
発議第 5号	防災対策の充実を求める意見書	
発議第 6号	義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書	
発議第 7号	女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書	
発議第 8号	地方の農地の保全と活用のための支援拡充を求める意見書	
同意第17号	教育委員会委員の任命同意について【中村一樹氏】	可決
議案第43号	三重明和インキュベーションセンター設置及び管理に関する条例の制定	可決
議案第44号	明和町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第45号	明和町半島振興対策実施地域における固定資産税の特例措置に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第46号	明和町立学校の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第47号	令和3年度明和町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
議案第48号	令和4年度明和町一般会計補正予算（第3号）	可決
議案第49号	令和4年度明和町斎宮跡保存事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第50号	令和4年度明和町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第51号	令和4年度明和町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第52号	令和4年度明和町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第53号	令和4年度明和町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第54号	令和4年度明和町介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第55号	令和4年度明和町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第56号	令和4年度明和町水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第57号	令和4年度 総体-2 Dreamオーシャン総合体育館長寿命化改修工事請負契約	可決
議案第58号	令和4年度明和町一般会計補正予算（第4号）	可決

議案番号	件名	結果
認定第 1号	令和3年度明和町一般会計歳入歳出決算認定	認定
認定第 2号	令和3年度明和町斎宮跡保存事業特別会計歳入歳出決算認定	認定
認定第 3号	令和3年度明和町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認定
認定第 4号	令和3年度明和町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定	認定
認定第 5号	令和3年度明和町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	認定
認定第 6号	令和3年度明和町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認定
認定第 7号	令和3年度明和町介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定
認定第 8号	令和3年度明和町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定
認定第 9号	令和3年度明和町水道事業決算認定	認定
請願第 1号	国に消費税インボイス制度の中止を求める請願	不採択

## 各議員の賛否 賛否の分かれた議案のみの表示です。

議員名 議案番号	奥山 幸洋	松本 忍	乾 健郎	阪井 勇男	下井 清史	江 京子	田邊 ひとみ	綿民 和子	北岡 泰	山内 理	中井 啓悟	樋口 文隆	高橋 浩司	伊豆 千夜子
認定第 1号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
認定第 3号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
認定第 7号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
認定第 8号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
請願第 1号	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	

議長 伊豆千夜子は採決に加わりません。

ただし、可否同数の場合は議長採決。「○」は賛成、「×」は反対。

# 一 般 質 問

9月議会の一般質問は、9月5・6日に行われました。

## 質問議員

高橋 浩司	議員	5 ページ
樋口 文隆	議員	6 ページ
中井 啓悟	議員	6 ページ
下井 清史	議員	7 ページ
田邊ひとみ	議員	7 ページ
江 京子	議員	8 ページ
北岡 泰	議員	8 ページ
綿民 和子	議員	9 ページ
奥山 幸洋	議員	9 ページ

- 明和町ホームページの「明和町サイトへ」をクリックしてください。次に右図の明和町ホームページ下部「明和町議会」をクリックしていただくと、議会だよりのバックナンバーがご覧いただけます。
- ふるさと会館・役場閲覧室などに備え付けの議事録もご覧ください。



### Q 高齢者が健康で こころ豊かに暮らせる まちづくり

A 今後、健康事業の  
デジタル化も検討  
していく



**質 問** ①デマンド交通「m o b i」の町全域での運行への動きかけを求める。②高齢者の安全運転の補助をするサポカーや後付け安全装置の普及支援を求める。③要介護を予防するための「生活の質の向上」について町の取り組みを問う。④高齢者が楽しんで続けられる健康支援の取り組みについて尋ねる。⑤高齢者虐待を防止するため、認知症への理解を高める等、町の取り組みを問う。

**答 え** ①「m o b i」については民間企業の実施であることから、収益の状況により今後の方向性が決定されるため、多くの皆様にご利用いただきたい。町としても要望はしていくが「チョイソコめいひめ」とそれぞれの特徴を生かし、共存共栄できるよう努めたい。②サポカー限定免許については、道路交通法が改正さ

れ、今年の5月13日から導入されたばかりであり、今後の免許取得状況や周辺市町の動向を注視していきたい。また、後付け支援装置の補助についても同様の対応で検討していく。③近年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けたことから、様々な活動に制約があり事業実施が出来ない状況であったが、感染症が終息に向かえば、老人クラブ活動や地域サロン活動の場に赴き「高齢者が活躍できる場づくり」に取り組んでいく。④いつまでも元気に活動できる体づくりを推進するために、「おとな元気教室」や「筋力脳力あっぷ教室」などを工夫改善しながら実施している。また、アプリ等を活用した健康事業のデジタル化も検討していく。⑤施設・事業所への虐待防止については、地域包括支援センター主催の地域連携推進会議を毎月開催し、情報交換等を行っている。また、虐待防止研修や認知症の研修も行っている。

### 他の質問

- 町施設及び町内事業所などへの男子トイレへのサンタリーボックス（汚物入れ）設置を求める

## Q 町内の雨水・排水の在り方は

A 計画の策定や進め方を今後検討していく



樋口文隆 議員

**質 問** ①気候変動に伴い線状降水帯などの発生により、当町でも気象庁観測所（小俣町）のデータによると、1時間当たり35mm～50mm近い降雨が記録され、道路や宅地に冠水している。明和町地域防災計画の風水害等対策編では、今後の水害対策をどのような計画にしていけるのか。②宅地開発に於いて、明和町開発指導要綱並びに開発技術基準に基づいて、宅地開発から生じた雨水排水対策をどのように指導しているのか。また町内全域の雨水排水計画の策定について、どのように進めるのか。

**答 え** ①線状降水帯の影響による集中豪雨や突発的に発生するゲリラ豪雨など、最近の異常気象への対応について、住まいのある地域の災害リスクや、適切な避難経路などを事前に把握し、万全の備えをするために、ハザードマップの活用を推進することなどのほか、具体的な対応策を地域防災計画に位置づけていく。②開発に伴う排水は、排水流量の計算と確認を実施した後一時放流先への流量計算を施設管理者が確認し、その結果放流先の施設能力を上回る場合は、既設排水施設の改修か一時貯留施設を整備するかを事業者が選択する。同時に加入自治会や周辺自治会にも協議するよう指導している。雨水の計画については平成10年度に公共下水道整備を行う際と平成13年度に農業集落排水区域について策定している。雨水排水事業を合理的かつ効果的に行うため既存施設の活用も含めて、どのような体制で計画を策定するのか、どの程度の規模でどう進めるのかなど検討していく。

## Q 子育て環境のさらなる充実を求める

A 関係機関が連携して環境の充実に努める



中井啓悟 議員

**質 問** ①不登校・いじめなど一定期間のケア及び追跡調査は実施しているのか。②不登校を主とした子どもたちの居場所のひとつ「松阪鈴の森」に通いにくいなどの声があるが、今後の手立ては。③子どもたちが日常的にすぐ診療できる小児科医院の誘致を改めて求めるが、現状の取り組みは。

**答 え** ①不登校の児童生徒については、町スクールソーシャルワーカーが、家庭訪問して児童生徒や保護者と面談、並行して小中学校・高校等を訪問し、協議やケース会議・連絡調整等を行っている。またスクールカウンセラーや町関係課、各小中学校、社会福祉協議会など関係機関が連携し対応している。いじめについては、早期発見と早期対処、継続して状況を観察し、いじめを訴えやすい体制の整備、いじめ

を発見した時の組織的対応、関係機関が連携しての見守りに努めている。②松阪教育支援センターは、松阪地域の小中学校の不登校児童生徒に対し、指導・学習支援等を行っている施設で、「松阪鈴の森教室」と「三雲やまゆり教室」がある。明和町から通うには、本人・保護者の負担が大きく、町内又は近距離の場所へ、同様の施設設置が必要と考える。三重県に対して児童生徒が通室しやすい運営方法を提案しながら引き続き要望していく。小学校等の跡地も含めて適切な場所を考えながら、不登校や学校に行きづらい子どもたちの居場所づくりを進めたい。③三重大学大学院医学部小児科の教授に、明和町の現状をお伝えし、小児科誘致に関する協力をお願いした。その際、教授からは小児科を専門とする医師の不足など厳しい現状があるが、誘致に関してできるだけ助言や協力をしていくとのお話を頂いた。また地域医療に貢献いただいている済生会明和病院へは、一般の小児科外来も開設いただきたい旨の要望を行っている。

### 他の質問

• 手話言語条例の制定を求める

## Q 災害への対策について

A 今後避難路の位置付けを検討していきたい



下井清史 議員

**質 問** 避難経路の整備として、沿岸部の住民の命を守るための避難用大型道路が必要だと思うがどのように考えているのか。

**答 え** 現在、避難される方々が使用する道路全てが避難路という考えに基づき、特定の道路を避難路として限定していない。今後、例えば、南海トラフ地震で甚大な被害が予想される沿岸部周辺地域について、多くの人々が避難時に使用する道路を主たる避難路と位置付けて整備していくことを検討していきたい。



## Q 小学校統廃合後の地域づくりについて

A 地域の方々と連携して施策を展開していきたい

**質 問** 小学校統廃合後の過疎化に特化した取り組みは。

**答 え** 現在、町全体として過疎化に特化した将来計画はない。しかし、地域によっては人口減少が見られることから、そういった地域の意見や要望に応えるために、地域の方々と連携して施策を展開していきたい。

なお、高齢者の移動手段を増やし、健康維持も含めた外出の支援のために、令和4年10月3日からデマンド交通を開始する。これにより町内の他地域への移動や交流も含め、ぜひ多くの方々にご利用いただきたい。

また、地域コミュニティの活性化に向けて高齢者のみならず独居老人等の見守りや生きがいづくり、子ども達の見守りなどといった地域の自主活動に向けた醸成や啓発を、将来、時間をかけながら丁寧に、関係団体等と連携して行っていきたい。

## Q 子どもの健康を守る取り組み

A 学校では効率的で適正な換気を行っている



田邊ひとみ 議員

**質 問** ①子ども医療費18歳までの無料化を求める。②特別出産祝金の継続を求めると共に、子育て環境整備の充実を求める。③学校における感染対策として、効果的換気対策を求める。

**答 え** ①国保の減額調整措置が撤廃されるなどの状況の変化があれば、検討していきたい。②出産祝金については、新型コロナウイルス感染、地方創生臨時交付金、町財政の状況を勘案した中で検討していきたい。③換気対策については、文部科学省のマニュアルに基づき、効率的かつ適正な換気を行っている。また、ほとんどの教室に空気清浄機を設置し換気対策の徹底に努めている。

## Q 平和問題を考える

A 平和について考え行動することが責務である

**質 問** ①平和問題、核兵器問題に対する町長の考えは。②明和町の平和学習はどのようなものか。③自衛官募集に係る対象者情報の提供に関して明確な住民周知を求める。

**答 え** ①ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は国際社会の平和と秩序、安全が著しく脅かされている状況にある。そして、核兵器なくして平和が維持できないという考えが勢いを増しているのではないかと危機感を感じる。平和と安全を守ることは私たち人類の共通の願いであり、平和について考え行動することを責務と認識している。②各学校で道徳や国語・社会の授業等で平和学習に取り組んでいる。特に中学校では、広島平和記念式典に生徒代表を派遣したり、近年は被爆体験者や伝承者を講師に招き、直接講話を聞き理解を深めている。③自衛官募集に関する対象者情報の提供は自衛隊法及び自衛隊施行令に基づく防衛大臣からの求めに応じて対応していること、そしてその事務の内容などを町ホームページに掲載しているが、他市町の状況を確認したり、また、関係機関と協議をしながら今後の対応を検討していく。

## Q 水産振興について

A 町独自の対策も行き、支援を考えていく



江 京子 議員

**質 問** ①衰退が著しい漁業者数、漁獲高の落ち込み要因は。②伊勢湾沿岸の砂地海藻の減少への取り組みは。③「貧栄養の海」から「ゆたかな海」への取り組みは。④水産振興費の減少の原因について。⑤新規漁業者や親から家業を引き継いだ者への支援について。⑥漁獲物の6次産業化への取り組みは。⑦漁業に特化した地域おこし協力隊採用の取り組みは。

**答 え** ①一般的な社会の流れで、厳しい職場は嫌われたと考える。また地球規模の温暖化、河口堰・ダム等の影響・水質総量規制による、窒素、リン規制の強化によると考える。②伊勢湾内でも、アマモ場の減少が著しく、三重

県において、アマモ場・干拓地についても調査が実施される予定。③各機関に働きかけ、伊勢湾総量規制の緩和を要望するとともに、町独自の対策として、鶏糞を原料とした有機肥料の設置を考えている。④稚貝等の入手が困難であったため減少したが、今後は有機肥料の設置の結果をみて、対策・支援等を考えていく。⑤現行では漁業継承に対する補助はない。県に支援を働きかけるとともに、町として、支援を検討する必要があるか考えたい。⑥6次産業化については、黒バラ海苔で、一度断念している。昨年はコロナ禍で、意見を聞く場が少なかったため、アンケートを実施したが、6次産業につながる意見はなかった。今後も漁協と協議を進めていく。⑦地域おこし協力隊採用の取り組みについては、南伊勢町で、「漁村インストラクター」として、活動されている例がある。今後も、漁協と連絡を密にして、地域おこし協力隊の派遣も含め、検討する必要があると考える。

## Q 業務継続計画(BCP)の重要6要素の診断を確認

A 関係機関と連携して計画策定等支援に取り組んでいく



北岡 泰 議員

**質 問** ①明和町内における中小企業版業務継続計画(BCP)及び農業版業務継続計画(BCP)の推進状況と必要性を聞く。②個人の避難行動計画「マイ・タイムライン」及び高齢者ら災害弱者対象の「個別避難計画」の作成状況と「要配慮者利用施設」における避難行動計画と訓練実施状況を確認する。③被災者の生活再建を後押しする「災害ケースマネジメント」の配置を求める。

**答 え** ①企業版BCPについては、県やみえ防災・減災センターが主体的となって取り組んできた。そして、明和町商工会では中小企業庁の事業継続力強化計画認定制度の認定を受け

る支援をしてきた。また、農業版BCPについては、県が主体的となって進めてきた中で、明和町においても、「土地改良施設の業務継続計画」を策定した。業務継続計画は大規模災害時において、業務機能が失われる深刻な事態を乗り切るための重要な計画であるため、関係機関と連携して計画策定の支援に取り組んでいく。②マイ・タイムラインの普及状況は把握できていない。避難行動の支援アイテムとして非常に重要なものと認識しており、その活用について、積極的に推奨していく。災害弱者対象の個別避難計画は医療的ケアが必要な障がい児2名に対して策定済みである。要配慮者利用施設の学校や福祉施設は全て避難行動計画を作成済みで、避難訓練も実施している。③明和町においても「災害ケースマネジメント」の手法による取り組みが重要になってくると思っている。県にも相談しながら研究をしていきたい。



## Q 住みやすいまちづくりについて

### A 住民サービスの工夫に努めている



綿民和子 議員

**質 問** ①身内の方がお亡くなりになった際の窓口への届け出について。窓口を一本化して、町民の方が複数の課へ移動しなくても、職員がローテーションで入れ替わり対応する方法は考えられないか。②高齢化率が今後さらに高まることが見込まれている、いわゆる2030年問題について。町が考える高齢者対策は。また、介護予防にもつながるサロン活動等への支援強化の考えは。

**答 え** ①死亡届の際に取り扱いの多い「年金」「後期高齢者医療保険」「福祉医療」「介護保険」「障がい者福祉」などに係る手続きを1か所の窓口でほぼワンストップで済ませることができている。移動が不自由な高齢者や障がいの

ある方には、他課の職員が窓口へ赴き、移動していただくかずに1か所の窓口で済ませることができるよう配慮させていただいている。不慣れな方には、他課の窓口まで職員が付き添わせていただいている。庁舎のスペース、人員体制、電算システムの運用などのことを総合的に考慮した中で、住民の負担軽減のための工夫をさせていただいているので現状のままでご理解願いたい。②2030年問題として、高齢化率が上がる中で、介護給付費や医療給付費が急増することは間違いないが、介護給付費や医療給付費の抑制のための重要なことは健康寿命を伸ばすことである。出前講座や介護予防教室、地域でのサロン活動の強化、認知症予防講演会の開催等を通じて健康寿命の延伸に取り組んでいく。また、高齢者の介護予防には、趣味や特技を活かした活動や積極的な人づきあいなどの社会参加が有効だと言われている。このことから、からだを動かす、仲間と集まって楽しい時間を過ごすことが出来る「サロン活動」への訪問を行い、情報提供やコーディネート等、必要に応じた支援に努めたい。

## Q 斎宮跡について

### A 保存活用計画を新たに策定していきたい



奥山幸洋 議員

**質 問** 「平成8年整備基本構想」の見直しで指定当時、地権者と約束されている方格地割区画の実物大復元整備を2025年節目の年に完成するよう文化庁・三重県・斎宮跡協議会ほか関係団体の協議で実現に向けた取り組みについて伺う。

**答 え** 史跡の整備はこれまで「史跡斎宮跡整備基本構想」に基づき、三重県により進められてきた。しかし、この基本構想は策定から26年が経過しており、町としては現状に即した整備構想への見直しが必要と考えている。今後の整備については、過去からの経緯も鑑み、優先すべき整備についてできる限り早期に整備を行うよう要望していく。また、明和町においても、史跡斎宮跡の全体計画となる保存活用計画について新たに策定していきたいと考えている。

## Q 消火栓ボックスについて

### A 定期的な点検の実施を啓発していく

**質 問** 消火栓ボックスのホースはかなりの年数を経過したものが多数あり生命、財産を守るためにも放水テストが重要。自治会への取り組みについて伺う。

**答 え** 放水点検については、消火栓ボックス収納品の取扱訓練のほか、ホースの破損を発見することに繋げることが出来るため、定期的に点検を実施していただくよう自主防災組織等へ啓発をしていく。また、消防団に対して、自主防災組織等が放水点検等を実施する際には、ホースなどの器具の取扱いの教示や点検に協力するよう引き続き要請していく。



# その後どうなった？



シリーズ  
第 94 回

このページは、1年前の一般質問がその後どうなったかを皆様にお知らせするものです。

- 一般質問の主な内容
- に対する答弁の内容
- 現在の取り組み状況や結果など



令和3年 9月定例会より

土砂災害に対する予防対策と発生時の住民への周知を問う。  
(高橋浩司議員)

法面安定のため一部の剪定間引き等を町で行っており、それ以外でも検討する。また台風時には、状況確認並びに直接住民に危険周知を行っている。

土砂災害警戒区域については、危険木の伐採等を令和4年度より計画的に実施をする。

町内の国道、県道、及び町道の標識や白線の修繕について。  
(下井清史議員)

町内の国道、県道は現地確認等の上、要望し町道は状況調査により計画的に修繕を進める。

町道の状況調査は、5年間で完了する計画で進めている。標識などの修繕は、警察により通学路を中心に実施し、町道の白線については、令和3年度に実延長で約2.8km実施している。

高齢者対策として「生活支援員・市民後見人」の体制整備や、「認知症高齢者等個人賠償責任保険事業」の導入を求める。  
(北岡泰議員)

生活支援員の活動支援体制作り及び市民後見人体制整備、個人賠償責任保険事業は検討を行う。

生活支援員と市民後見人制度については、引き続き社会福祉協議会と協議していく。個人賠償責任保険は令和4年に導入した。



伊勢広域環境組合清掃工場の建設に関し、住民が納得できる施設となるよう求める。(田邊ひとみ議員)



国の動向を注視しながら脱炭素社会に相応しい施設となるよう住民の理解を得たい。



新ごみ処理施設の建設にかかる同意を地元自治会からいただき、協定を締結したことから、今後は、脱炭素社会に相応しい施設的设计及び建設をしていく。



農振区域外農地の農地取得の制限について、制限の緩和を行ってはどうか。(松本忍議員)



規制緩和については、農業委員会と慎重に協議を進める。



令和3年11月18日開催の農業委員会で、農地取得の下限面積設定を、許可条件を満たす場合、1アール以上で農地取得ができるよう規定の変更承認を得た。令和4年4月1日より施行している。



コロナ感染者や関係者に対する誹謗・中傷また、コロナに関連づけた部落差別などへの対応と今後の取組は。(中井啓悟議員)



広報での周知や啓発ポスター配付などによる啓発活動に努め、県とも連携して取組を進めたい。



ポスターによる啓発実施のほか、連続人権講座では関連したテーマでの周知・啓発、またネットでの誹謗中傷などの書き込みの確認を現在でも実施している。



コロナ禍における高齢者に及ぼす体力低下や認知症の進行など、町としての高齢者支援について。(江京子議員)



精神面の不安や、運動能力低下の懸念がある。



健康ひろば出前講座では、申込みが昨年7件だったが、周知に力を入れ、今年は8月時点で12件に増えている。講座では体操のほか認知症についての講演も行っている。

# キラッと輝く人たち

\*\*\*\*\*

## 「編み物の趣味で毎日楽しく」

### ビーズ編み物会

坂本で不定期にビーズ編みを楽しんでいるグループです。講師の北藪友子さんを中心に少人数で作品を作っています。北藪さんに話を伺いました。

「小さい頃から財布が大好きで、父親に財布を買ってもらうのが楽しみでした。自分が看護学生の時の実習で出かけた病院で患者様が編んでいたビーズ財布が気に入り、編み方を教えて頂いたのがきっかけでビーズ編みが趣味になりました。結婚や入学や卒業の人達に



ビーズ編みって楽しいですよ！

プレゼントして喜んでもらったのが嬉しかったです。これからも元気にビーズ編みや巾着を編み続けて、皆さんに喜んでいただきたいと思います。」

皆さんも一緒にビーズ編みで財布や巾着を作ってみませんか。



ろうそくと竹の灯りイベントに来ていた子どもたち

## 編集委員より

菊の香りただよう霜月を迎えましたが、町民の皆様にはお健やかに過ごしてはいかがでしょうか。感染症対策等に気をつけて、体調を崩さぬようお過ごしください。

9月定例会は、決算特別委員会を中心に、事業評価や子育て・高齢者福祉・1次産業支援・防災減災など幅広い議論が行われました。

今後とも住民の暮らしを第一に、町民の皆さんと共に語り歩いていける議会でありたいと考えます。

現委員会での議会だよりの発行は、今号で最後になります。ご愛読ありがとうございました。



明和町公式LINEで、  
町議会議員選挙と  
議会だよりの発行を  
お知らせしています。  
QRコードから、ぜひご登録を！



令和4年 第4回定例会

12月15日(木) 午前9時から

■一般質問は15日・16日を予定しています。  
(変更の場合あり)

詳細は、議会事務局までお問い合わせください。

### 議会だよりの編集特別委員会

委員長：北岡 泰 副委員長：江 京子  
委員：松本 忍、田邊 ひとみ、綿民 和子、山内 理、中井 啓悟、樋口 文隆